

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	老人クラブ活性化促進事業		担当部署	健康福祉部 長寿介護課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	老人福祉法(昭和38年、法律第133号)第13条の2		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成	14 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期	未定
(小項目)		高齢者福祉				
施策	4	高齢者福祉の推進				
基本事業	1	いきがいと健康づくりの推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市老人クラブ連合会						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市老人クラブの育成や活動の活性化を通じ、高齢者の積極的な地域参加や生きがいづくりを進め、高齢者福祉の増進を図る。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	・老人クラブ運営費の助成 ・友愛訪問員活動の推進						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		個別活動参加率	29.8	30.0	30.0	30.0	30.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①老人クラブ連合会への補助 ②介護予防・友愛活動への支援 ③介護予防リーダーの活用 ④友愛訪問員との「ひとりぐらし高齢者連絡カード」による連携						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
		指標名	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	会員数	3,026	2,913	3,150	3,200	3,200	人
	2	個別活動参加者数	777	749	850	900	900	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		個別活動参加率	25.7	25.7	—	—	—	%
		目標達成率(実績/目標)		85.7	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	2,054	0	0	1,028	3,082
		全体予算額	0	2,054	0	0	1,028	3,082
		決算額	0	2,054	0	0	1,028	3,082
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費	
0.1		0.0		686		3,768		

【事務事業名：老人クラブ活性化促進事業】
(千円)

事業費推移	年 度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	3,082	3,082	3,082	3,082	3,082
	うち一般財源	1,028	1,028	1,028	1,028	1,028
	人件費	688	686	686	686	686
	総事業費	3,770	3,768	3,768	3,768	3,768

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		支援内容の検討により、効果の向上の可能性がある。
	効率性	B:概ね効率的だった		全市的に組織されている老人クラブを支援育成することにより、高齢者の積極的な地域社会への参加や生きがいがづくりを進めていくことが可能である。
②成果に対する評価	指標名	個別活動参加率		各事業の開催を継続する中、前年度並みの参加率を確保しており、概ね目標を達成できたと判断した。
	目標	30.0	%	
	実績	25.7	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		活動の活性化に向けた取り組みは継続できているが、会員数の拡大により効果的につながるよう検討が必要である。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現会員に対する健康づくり・生きがいがづくりへの活動支援はできていると考えているが、会員数の減少に歯止めをかけることはできてない。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	①若手委員会との連携により介護予防リーダーの活用方法を検討し、前期高齢者の会員拡大を図っていく。 ②クラブ活動支援を介護予防事業とマッチングさせることにより魅力ある健康づくり、生きがいがづくり活動へとしていく。 ③平成28年度から実施を予定している「いきいきサロン」の実施主体となるよう、制度の周知等の			
	平成29年度	同上			